

切除可能、ホルモン受容体陽性、HER2 陰性乳がん におけるサブタイプ別の予後を検証するための 後方視的研究

研究を行うに至った背景：

近年、我が国における乳がんの罹患者数や乳がんによる死亡者数は年々増加しており、女性の悪性腫瘍による死亡原因の第1位です。今後さらに罹患者数は増加をすると予想されており、乳がんに対する治療開発は大きな課題です。

研究の目的と意義：

本研究は切除可能なホルモン受容体陽性、かつHER2 陰性乳がんと診断され、当施設で根治的外科手術を受けた患者さんを対象としています。乳がん患者さんの食生活や運動習慣などの生活背景や乳がんに対する標準治療の変遷とともに、該当患者さんの予後が改善することが期待されますが、実際に予後が異なるかどうかを日本で検証した報告はありません。年代別の予後を比較して差があるかどうかを明らかにし、差がある場合にはどのような理由が考えられるのかを明らかにすることを目的としています。

この研究は現在の乳癌の周術期薬物療法の状況を把握し、より個々の患者さんに応じた治療を行う上で参考になるデータが収集されるため、その意義は大きいと考えます。

研究対象：

1992年7月1日から2010年12月31日までの期間に国立がん研究センター東病院にて、切除可能なホルモン受容体陽性、かつHER2 陰性乳がんに対して根治的外科手術を受けた女性患者さんの診療記録を対象とします。

方法：

本研究では国立がん研究センター東病院における診療情報のデータを院内で収集および解析する形式で行われます。収集するデータは、患者さんの背景、治療内容、画像所見、治療結果、生存期間を調べます。

個人情報保護に関する配慮：

閲覧する診療記録には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定されないやり方で情報収集をします。当院の医師以外のひとが患者さんの診療記録より得られた個人情報を閲覧することはありません。対象となる患者さんの識別は研究登録番号により管理し、個人情報が院外に出ることはありません。患者さんなどからのご希望があれば、その方の診療記録は研究に利用しないようにしますので、いつでも次の連絡先まで申し出てください。

研究責任者

国立がん研究センター東病院 乳腺・腫瘍内科

向井博文

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

TEL：04-7133-1111 (内線 91642)

照会先および研究の利用を拒否する場合の連絡先

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

国立がん研究センター東病院 乳腺・腫瘍内科

山田遥子

TEL:04-7133-1111 FAX:04-7131-9960